

ブロック塀等チェックリスト（補強CB造の塀）

所在地:

所有者:

A. 建築基準法適合チェック

築造年月	☐ 昭和45年12月31日以前	☐ 昭和46年1月1日～昭和56年5月31日
	☐ 昭和56年6月1日以降	☐ 不明（ 年頃）

(適否について 適:○、 否:×、 既存不適格:△ で記載)

	項目	ポイント	チェック欄	適否
①	塀の高さ	2. 2m以下	m	
②	塀の厚さ	塀の高さが2m超 :15cm以上 塀の高さが2m以下 :10cm以上	cm	
③	控壁の有無	1. 2m以上の塀は必要 (鉄筋:径9mm以上)	有・無	
	控壁の長さ	塀の高さの1/5以上突出していること	cm	
	控壁の間隔	間隔が3. 4m以下	m	
※以下④～⑤は分かる場合のみご確認ください				
④	配筋 (鉄筋の配置)	・壁頂および基礎の横筋:径9mm以上 ・壁の端部および隅角の縦筋:径9mm以上 ・壁内の縦横筋:径9mm以上、間隔80cm以下	有・無 径: mm 間隔: cm	
	定着 (鉄筋の末端)	・縦筋は壁頂および基礎の横筋にかぎ掛けして定着 (鉄筋径の40倍以上基礎に定着させる場合を除く) ・横筋はこれらの縦筋にかぎ掛けして定着		
⑤	基礎	基礎のたけは、35cm以上、根入れの深さは30cm以上 (塀の高さが1. 2mを超える場合)		

***** 法改正の経過等(補強CB造) *****

- ・塀の高さ 3m以下 → 2. 2m以下 (昭和56年6月改正)
- ・控壁の間隔 3. 2m以下 → 3. 4m以下 (昭和56年6月改正)
- ・縦筋末端の定着仕様 (鉄筋径の40倍以上の定着追加) (昭和56年6月改正)
- ・上記以外の規定は、昭和46年1月施行

※ 既存不適格とは、法令等の改正により現行の法令規定に合致しない状態をいい、違反ではありません。

【裏面】

B.劣化等の状況

	項目	ポイント	チェック欄	備考
①	劣化状況	ブロックのずれ、目地にひび割れ等	有 ・ 無	
②	傾斜	ぐらつきがないか、傾斜していないか等	有 ・ 無	
③	その他	※ 気になる点を記載してください。		

